

2026年4月14日

各 位

会社名 いちご株式会社
代表者 代表執行役会長 スコット キャロン
(コード番号 2337 東証プライム)
問合せ先 常務執行役財務本部長 坂松 孝紀
(電話番号 03-4485-5221)
www.ichigo.gr.jp

DOE 目標引き上げ（4%以上から「5%以上」）のお知らせ

本日開催の当社取締役会において、2019年4月17日公表、2024年4月15日付けで刷新（項目新設および強化）いたしました長期ビジョン「いちご2030」経営目標（KPI）のうち、DOE（株主資本配当率）目標について、従来の「4%以上」から、新たに「5%以上」への引き上げを決定いたしましたので、以下のとおりお知らせいたします。

記

1. DOE 目標引き上げの理由

当社は、サステナブルな社会の実現を目指す「サステナブルインフラ企業」として、将来を見据えた戦略的な事業展開を通じ、事業優位性のさらなる拡充を図り、株主価値の最大化に向けて取り組んでおります。こうした方針のもと、長期 VISION「いちご2030」において経営目標（KPI）を定め、既存事業の継続的な成長に加え、当社が心築（※）事業を通じて培ってきたコア・コンピタンスを活かし、不動産市況に左右されにくい、持続性と安定性の高い新たな収益基盤の構築を目指しております。

このような取り組みの結果、2026年2月期の当期純利益は過去最高益を更新し、2027年2月期の業績予想においても過去最高益更新を見込んでおります。

こうした利益の拡大に加え、ストック収益の堅調な積み上がりを踏まえ、株主還元策として累進的配当政策と併せて設定している DOE 目標を、従前の「4%以上」から「5%以上」へ引き上げ、株主様への還元を強化するとともに、中長期的な株主価値のさらなる向上を目指してまいります。

（※）心築（しんちく）

心築とは、いちごの不動産技術とノウハウを活用し、一つ一つの不動産に心を込めた丁寧な価値向上を図り、現存不動産に新しい価値を創造することで、日本における「100年不動産」の実現を目指しています。

2. DOE 目標の内容

2027年2月期より「5%以上」

（参考）

2019年4月17日発表（設定当初） 3%以上

2024年4月15日変更 4%以上

DOE 目標を「5%以上」に引き上げたことに伴い、2027年2月期の配当予想は、2026年2月期配当予想 11.5 円から 4 円増配となる 15.5 円（+35%）を予想しております。DOE 目標の引き上げおよび累進的配当政策により、より高い水準かつ安定的な配当政策を実現いたします。

【参考】

いちご長期 VISION 経営目標 (KPI) 一覧表

<p>資本生産性およびキャッシュ創出力</p> <ul style="list-style-type: none">自己資本利益率 (ROE) : キャッシュ ROE (※1) 18%以上 ROE 15%以上エコノミック営業キャッシュフロー (※2) : 当期純利益超過の維持 <p>(※1) キャッシュ純利益 (当期純利益 + ノンキャッシュ費用) ÷ 期中平均自己資本 (※2) 営業活動によるキャッシュ・フローから販売用不動産および販売用発電設備の増減額 (仕入・売却) の影響を控除し、かつ、特別損益に計上される心築資産の売却損益を加味したキャッシュ・フロー (税引後)</p>
<p>安定収益</p> <ul style="list-style-type: none">ストック収益比率 (※1) : 60%以上ストック収益固定費 (※2) カバー率 : 200%以上 <p>(※1) ストック収益 : 賃貸収益、売電収益、AM のベース運用フィー等 (※2) 固定費 : 固定販売費及び一般管理費、支払利息</p>
<p>株主還元策</p> <ul style="list-style-type: none">「安心安定配当」の累進的配当政策 (Progressive Dividend Policy) の維持DOE (株主資本配当率) 5%以上【強化】機動的な自社株買いの実施
<p>サステナブルな社会に向けた環境課題解決</p> <ul style="list-style-type: none">いちごのクライメート・ポジティブ CO2 削減量 > CO2 消費量 (Scope 1・Scope 2)RE100 2025 年までに事業活動で消費する電力を 100%再生可能エネルギーにCDP リーダーシップレベルの維持

以上